

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	登米郡中田町立浅水小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	12
児童数	17	29	15	33	28	23	0	145	

研究の概要

1. 研究主題

学ぶ喜びと楽しさを感じ、確かな学力を身に付ける子どもの育成
国語科と算数科における、個に応じたきめ細かな指導を通して

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

学力向上には、国語と算数の力が必要と考え、1～6年生の国語科（言語事項、）と算数科を実施した。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 学ぶ楽しさや喜びを感じ、確かな学力を身に付ける子ども 読み書き計算を中心として</p> <p>研究仮説 読み書き計算を中心とした学習活動において、次のような手立てをすれば、学ぶ喜びと楽しさを感じ、確かな学力が身に付く児童が育つであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・学習活動の工夫 ・学んだことを定着させる活動の工夫 <p>研究の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細かな指導の工夫（TT・少人数指導） ・学習活動の工夫（課題設定、課題解決、評価） ・学んだことを定着させる活動の工夫（読む活動、書く活動、計算力を高める活動） <p>研究の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態の把握と問題点の分析 ・研究授業の実践（事前、事後検討） ・指導法の工夫、指導体制の工夫、教材開発、評価を生かした指導 ・文献研究
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 学ぶ楽しさや喜びを感じ、確かな学力を身に付ける子どもの育成 国語科と算数科における、個に応じたきめ細かな指導を通して</p> <p>研究の視点と内容</p> <p>視点1 指導方法・指導体制の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細かな指導の工夫（1単位時間のTT指導、指導過程の工夫） ・指導体制の工夫（1単元のTT・少人数指導、興味・関心別、習熟度別コース学習） <p>視点2 評価の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準表（国語、算数）の作成と活用 ・多面的な評価の工夫（自己評価、相互評価、作文、ノート、発言、発表、表情行動の観察、TTの情報交換、単元ごとのテスト、学力テスト、漢字テスト、作品、学習アンケート） <p>視点3 教材の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材開発（カード、カルタ、パズル、ワークシート、パソコンソフト、自己診断テスト、コース 選択カード、コース別プリント、チェックシート、VTR、） ・家庭学習プリントの工夫（本読みカード、プリント、ドリル） <p>視点4 学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を支える活動（読書タイム、計算スキルタイム、朗読会、読み聞かせ）
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備（国語，算数コーナーの設置，学習室の整備） ・家庭との連携（基本的な生活習慣の形成，家庭学習，研究だより発行，アンケート実施） <p>研究の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態の把握（意識調査，学力テスト，漢字テスト）と問題点の分析 ・指導法の工夫，指導体制の工夫，教材開発，評価を生かした指導 ・研究授業の実践（事前，事後検討） ・文献研究 <p>視点（どこから見るのか）研究は，「目標がはっきりしている」ので，視点研究に変更した。</p>
--	---

平成16年度	<p>テーマ 学ぶ楽しさや喜びを感じ，確かな学力を身に付ける子どもの育成 国語科と算数科における，個に応じたきめ細かな指導を通して</p> <p>研究の視点</p> <p>視点1 指導方法・指導体制の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細かな指導の工夫（1単位時間のTT指導，指導過程の工夫） ・指導体制の工夫（1単元のTT・少人数指導，興味・関心別，習熟度別コース学習） <p>視点2 評価の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準表（国語，算数）の作成と活用 ・多面的な評価の工夫（自己評価，相互評価，作文，ノート，発言，発表，表情行動の観察，TTの情報交換，単元ごとのテスト，学力テスト，漢字テスト，作品，学習アンケート） <p>視点3 教材の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材開発（カード，カルタ，パズル，ワークシート，パソコンソフト，自己診断テスト，コース 選択カード，コース別プリント，チェックシート，VTR，） ・家庭学習プリントの工夫（本読みカード，プリント，ドリル） <p>視点4 学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を支える活動（読書タイム，計算スキルタイム，朗読会，読み聞かせ） ・学習環境の整備（国語，算数コーナーの設置，学習室の整備） ・家庭との連携（基本的な生活習慣の形成，家庭学習，研究だより発行，アンケート実施） <p>研究の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態の把握（意識調査，学力テスト，漢字テスト）と問題点の分析 ・指導法の工夫，指導体制の工夫，教材開発，評価を生かした指導 ・研究授業の実践（事前，事後検討） ・文献研究
--------	---

（3）研究推進体制

<p>研究推進部会 全体会 専門部会（指導部会，調査部会，上・下学年部会）</p>

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1．研究成果

<p>視点ごとの成果</p> <p>視点1 指導方法・指導体制の工夫改善（授業，授業外の学習で個に応じたきめ細かな指導を工夫し，1単位時間と1単元におけるTT・少人数指導の指導形態を工夫したことで，個人差はあるものの児童の学力の伸びが見られた。また，教師の指導力が向上した。）</p> <p>視点2 評価の工夫改善（国語科と算数科の評価規準表を活用し，多面的な評価を行ったことで，個に応じた指導を行うことができた。）</p> <p>視点3 教材の工夫改善（教材開発や家庭学習プリントの工夫により，児童は興味をもって学習した。）</p> <p>視点4 学習環境の整備（読書タイム，計算スキルタイム，朗読会等により学力の向上に効果があった。また，国語や算数コーナー，学習室の整備で，学習に興味関心が図られた。音読等家庭との連携が得られ，効果があった。さらに，授業公開，webページの開設により，研究成果（授業公開2回）を普及した。）</p>
--

2. 今後の課題

指導方法・指導体制の工夫改善	T・T・少人数の指導体制による実践， 個に応じたきめ細かな指導
評価の工夫改善	多面的な評価の工夫
教材の工夫改善	国語科算数科の教材開発， 補充的・発展的な教材の開発
学習環境の整備	学習環境の整備を保護者， 地域を巻き込んだ研究
授業公開， w e b ページの情報公開による研究成果の普及	

学力等把握のための学校としての取組

学力テストの実施
漢字テストの実施
意識調査（児童， 保護者）の実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

授業公開（9月， 11月）
w e b ページによる指導案掲載など
講師招聘による授業検討会の公開（2月）
保護者向けに研究だよりの発行

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無